

## 1. ゾーニングについて

### 1.1 敷地周辺の現況

現時点において想定される「道の駅」の敷地周辺の状況は以下のとおりです。



---

## 1.2 ゾーニングの考え方

現時点におけるゾーニングの考え方を以下に示します。

- ・敷地形状及び建物配置については、交通量の多い菅谷・飯田線（バードライン）側からの視認性に配慮し、長手方向がバードラインに面する長方形の形状で検討を行っていきます。
- ・駐車場出入口の設置については、菅谷・飯田線（バードライン）の4車線化計画に伴う拡幅及び中央分離帯の設置等を考慮するとともに、既存交差点との離隔距離に留意しながら、信号機の新設による交差点の整備などの検討を行っていきます。
- ・前面道路から敷地内への出入りについては、道路管理者である県や市、警察等との協議を行った上で、渋滞緩和及び安全対策などを講じます。

### 1.3 ゾーニング計画のイメージ

現時点において想定されるゾーニング計画のイメージ（案）を以下に示します。なお、アクセス性や渋滞及び安全対策、施設の適性配置等の観点から、今後も引き続き検討を行うものとし、関係機関等との協議や施設内容の精査、基本設計等を踏まえた上で、各施設の最終的な配置計画を決定していきます。

